

OKAME STYLE



丘女会会報
「OKAME STYLE」
第6号
令和3年7月発行
編集 丘女会広報部
TEL : 092-561-0662

縁の下の力持ちのような人間に。 愛媛で最年少、 数少ない女性腎臓内科専門医

松山赤十字病院 腎臓内科医

いわもと おのほら さき
61回生 岩本(小野原)早紀さん

■今の仕事は？

大学を卒業して、研修医として九州大病院と済生会福岡病院で1年ずつ、その後九州大学の医局に入って5年目、松山赤十字病院の医師です。今年になって腎臓専門医の資格を取得しました。今産休に入って3か月めです。

■高校時代は？

部活は茶道部でした。バンドでベースをしたりして文化祭や運動会も楽しみました。大学では軽音楽部(メインはジャズのビッグバンド)でウッドベースを。今もよく聞くのはジャズです。

■どうして医師に？

父が医師で身近だったこともありですが、これからは女性も資格をもって仕事をして行ける時代だと思っていたこと、自分の体にも興味があってずっと勉強していく興味も持ってたからでしょうか。高校の頃は文系に進むか迷ったりもしましたが、医師は手に職をつけることができるし、大学で勉強したことを活かせる仕事でしたかったので医師になりました。

自分自身の仕事を自分で得る、
「手に職がつく」医師に

■どうして腎臓内科を？

大学で6年間、国家試験を受けて医師免許を取得したあと、2年間の研修を経て専門に分かれていきます。いろんなタ



イプの仕事があって、研修の時期にいろいろ体験して進む道を決めます。私は、患者さんとしてしっかり関わられて、腎臓の生検や血管の手術などの手技もあり、感染症や膠原病などいろいろな病気も勉強できる腎臓内科を選びました。

腎臓は心臓や脳ほど目立たず馴染みがないかもしれませんが、ミネラルや水分のバランスなどを司る重要な臓器で、休みなく働いています。少し機能が落ちても、元気な部分で機能を補充し頑張ってくれるので、最後まで腎臓の機能障害は気づかれないことが多いのです。腎臓は縁の下の力持ちの様な存在なので、症状が出る前に治療を始めて、それ以上悪くならない様に守ってあげる必要があります。そんな腎臓の働きや治療の面白さに魅力を感じています。

私も、腎臓の様に
縁の下の力持ちの様な人間に
なれたらいい

腎臓内科でもいろいろな専門があって得意分野を探して進んでいきます。専門医は5年のフルタイム勤務経験が必要で、妊娠中ではありましたが、なんとか最短で腎臓内科専門医を取得できました。まだ道半ばですが、もう一つ透析専門医の資格を取ろうと思っています。

■仕事のやりがいとは？

患者さんや家族の方から、感謝の言葉や手紙を貰ったり。そこがやりがいとしては一番です。社会の中で居場所ができるのも大きいです。医療という側面から、死生観や生き方など社会的な側面も知ることができます。知的好奇心を刺激される医療に関して新しい知識を勉強させてもらえる環境もありがたいです。一つの間違いが重大事になる怖さや、夜中でも呼び出しなど、時間的にも身体的にきつい仕事ではありますが、

感謝のことが直に開ける、
勉強することが社会に還元できる
仕事です



< Profile >

高 61 回生
佐賀大学医学部医学科卒業

2015年 九州大病院(研修医)
2016年 済生会福岡病院(研修医)
2017年 九州大学第二内科腎臓研究室入室
九州大病院勤務
2018年 製鉄記念八幡病院勤務
(2019年 結婚)
2020年 松山赤十字病院勤務
(夫と同居開始)

■結婚、妊娠、出産を通して感じたことを

夫は入局の時の同期で、最初は別居でしたが今は同じ職場です。専門医も一緒に取得して、これからも大変なことを一緒に乗り越えていけそうです。

妊娠を知った患者さん達はとても喜んでくれて「赤ちゃん見せてね!」と目をキラキラさせてお腹を触ってくれました。体の変化は想像以上でしたが、職場の理解もあり33週まで勤務できました。出産も予想以上に大変でしたが、生まれてきた我が子を見るとこれ以上ない喜びと達成感を感じました。産後、夜寝ない我が子との生活は本当に大変で、まるで毎日当直しているような目まぐるしい日々の中、自分も両親に育ててもらった有り難みを実感しています。

■高校生にメッセージを

コロナの影響で大きく価値観も変わっていく中、将来を不安に感じるかもしれませんが、どんな道を選んでも不正解はなく、全て意味のあることだと思います。自分を信じて決めた道に向かって頑張ってください。私もまだ医師としても母親としても半人前ですが、これからも日々精一杯頑張って成長していきたいと思っています。

パリに住んで 15 年。 夫婦でのレストラン共同経営にアートを取り入れ 文化を通じ人と人をつないでいきたい

アートプロジェクトディレクター

あ つ み お お つ あ き こ

54 回生 渥美 (大津) 明子 さん

■お仕事の経緯を教えてください

パリ大学大学院卒業後就職した「イデム」は、ピカソ、マチス、ミロ、シャガールなど、20世紀を代表するアーティストたちが活躍していた世界的に有名な版画の工房です。そこで国際的な交流とフランスの伝統技術を日本にも繋ぎたいと日本を中心にプロジェクトを立ち上げました。2015年には、小説家の原田マハ氏と一緒に、その工房を舞台にした小説「ロマンシエ(原田マハ著/小学館)」と、その小説の中に伏線で現れる展覧会を実際に東京駅の東京ステーションギャラリーで開催するなどのプロジェクトを企画・実現させました。

海外への思いは

16歳のニューヨーク旅行から

16歳の時に初めての海外ニューヨークで、今まで見てきたものとの大きな違いに感動してその時に海外に出ようと決めました。中学でやっていたバレーボールは高校ではやめて学業優先した



©11H45

< Profile >

高 54 回生

多摩美術大学情報デザイン学科卒業

2006年 多摩美術大学卒業後渡仏

2009年 パリ第8大学大学院卒業

2011年 イデム入社

2016年 日本で法人立上げ

2017年 第一子出産、フランス法人立上げ

2019年 レストラン MAISON オープン
(パリ 11 区)

2021年 第二子出産

のですが、勉強しなくなるは、遊ぶはで先生を困らせていた生徒だったと思います。高校3年生の夏までは理系で環境問題の研究に興味がありましたが、人とのコミュニケーションが好きなので研究職は向かないのではと悩んでいました。そんな時に母が「美大に行ったら？」と勧められ、「面白そう！」と美大受験を決めました。海外に行くには東京に出るのが早いと考え、東京の大学を受験。その中で得意な数学を活かすことのできる多摩美術大学の情報デザイン学科に進みました。

人と人をつなぐ事で何かできないかという思いで海外にどうやって行こうかに力を注いだ大学4年間

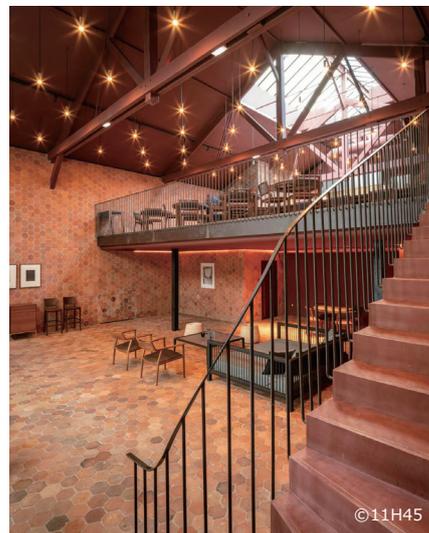
美大の人達はみんな美術に関して好きに、思い切りやっている人しかいなくて。それまではいい企業に入ることが一番だと思っていました。でも、好きなことを思い切りやる方法があるとわかり、好きだと感じていた「人を繋ぎたい」を仕事にできないかと考えるようになりました。ずっとニューヨーク留学を考えていましたが、イラク戦争が勃発。それと同時にヨーロッパではユーロ通貨がスタート。「ヨーロッパに行けば、一つの国からでも多くの国々を見れるかも？」そんな考えからヨーロッパの国を検討し始めました。フランスは公立だと学費が無料なため、日本の私立大学の学費代で生活費も含めてパリの国立大学院に行ける、と親を説得し行かせてもらいました。

■フランスでの結婚、出産、子育てのご様子を聞かせてください

フランスで出会った日本人シェフの夫と結婚して子ども2人を出産しました。2019年にオープンしたレストランを夫と共同経営しながら、アートの仕事もプロジェクトベースで続けています。フランスは、幼稚園から義務教育で子育ての制度がしっかりしていて女性が働きながらの子育ては当たり前です。妊娠前はフランス人って冷たいイメージがあったのですが、妊娠・出産してから、本当にみなさん妊婦や子どもに優しいんです。私たちが日本とフランスの良いと



©11H45



©11H45

ころを取り入れて仕事と家庭の両方を楽しんでいます。

■今からやりたいことは？

パリのレストランなら世界中から来てくれて、そこには、食べ物飲み物だけでなく、空間から器、技術やコミュニケーションがあり、文化が詰まっています。私がアートの世界で培ったことをより広く続けられると思ってパリの11区にオープンしたレストランMAISON。空間は建築家の田根剛さん、レストランロゴは映画監督のディヴィッド・リンチさんなど、元々交流のあった多くのクリエイターが携わってくれました。

この夏、私たちのレストランから派生した企画を日本で立ち上げます。その第一弾として、南青山にカフェレストランMAISON with ARTS&SCIENCEを開く予定です。京都、福岡、佐賀でも面白いお話が立ち上がっているの、パリと東京～福岡が繋がって、福岡の若い人材と一緒に拠点を作り、日本や世界で何かを形にできたらいいなと思っています。

■高校生にメッセージを

私が高校生の時には、「一番好きなことを一生懸命やって仕事にする」、それができるといふ選択肢が見えませんでした。どんな些細なことでも、今世の中にない仕事でも、好きなことを一生懸命やればどんなことでも形にできる、それを知って多くのことに挑戦してほしいなと思います。

生活習慣病の原因である過食のメカニズム 第六の味覚の研究者、 そして教育者としての歯科医師

東京歯科大学短期大学 教授

やすまつ なかの けいこ

37 回生 安松(中野)啓子さん

大学卒業後の経緯を教えてください

**歯科医師として一旦就職
その後の大学院に進学し
本当にやりたいことを見つける**

九州大学歯学部卒業後、大阪で3年、東京で5年と街の歯科医師として勤務していました。

いろいろな症例、患者さんを見ているうちに、同じ病気でも人によって症状が違ったり、同じ治療をしても回復度が違ったり、一概に「この次にこれしたら治るでしょう」というものではないことに気がつきました。自分は基礎系の学問をちゃんと勉強していないから応用がきかない、様々な症例に対応できないと考えて大学院への進学を決意して九州大学へ戻ってきました。

大学院は生理学を専攻して、味覚をテーマに学位を取ったのですが、やっているうちに自分は、研究と教育に向いている事に気が付きました。なので、4年間の院生活後は博士研究員として、自分の研究をしながら授業や実習を受け持ち、教育のキャリアを少しずつ積んでいきました。

味覚研究が面白いという気持ちから使命感へ、きっかけは友人の病気

研究をしているときに、一緒においしいものを食べ歩いていた友人が、メタボいわゆる肥満で若くして脳梗塞で倒れてしまいました。その事を聞いて、「自分は医療者なのはどうして健康的な食べ方を助言しなかったんだろう？私がブレキ役になっていたらその人は倒れなかったかもしれない」とすごく後悔しました。おいしいから食べてしまうわけで、おいしくて食べすぎるそのメカニズムが味覚にあるのなら探究したいという発想になりました。

研究をもとにテレビ出演依頼も

最初は向いているな、面白いなという気持ちで大学に残ったのだけれど、この

ことがあって、味覚こそ研究しないとだめだと思えるようになりました。

第六の味覚の証拠を見つけ、最近の脂肪の味覚の動向として、鈍感になったらメタボのリスクが高まるという話をしたら実験を交えて番組を作りたいということでNHKのクローズアップ現代、世界一受けたい授業へ出演をしました。

現在東京でのお仕事は？

九州大学勤務時から教授選に応募していて、2020年度から東京歯科大学短期大学に教授として自分の研究もしながら、未来の歯科衛生士の学生に授業をしています。

最近口の中の大切さがわかってきて、高齢者のオーラルフレイル(口の衰え)は全身の健康状態に関係することで、今後の歯科衛生士さんたちの活躍が期待される所です。私も衛生士さんから教わるところが沢山あります。

高校時代は？

**バンド活動、硬式テニスを
やっていた高校時代。
でも2年生からは受験勉強に専念。**

同級生女子でバンドを組みドラム担当でした。スタジオを借りて練習、文化祭も出ました。同時に硬式テニスもやっていたのですが、どちらも1年間で辞めて、2年生からは受験勉強に専念。私は手先の細かい作業が好きだったので親から歯医者に向いているんじゃないの？と言われたのがきっかけで地元の九州大学歯学部を目指しました。当時家庭教師だった人が一浪して歯学部に行った人



< Profile >

高 37 回生

九州大学歯学部卒業

1991年 歯科医院勤務
2003年 九州大学大学院歯学研究科修了博士(歯学)
2003年 九州大学大学院歯学研究院 研究員
2009年 朝日大学口腔生理学分野 准教授
2011年 (結婚)九州大学大学院歯学研究院 特任准教授
2014年 九州大学味覚・嗅覚センサ研究開発センター 准教授
2019年 東京歯科大学 准教授
2020年 東京歯科大学短期大学 教授

で、一浪したことで予備校に通ったりと、親に迷惑をかけたと後悔していて、「現役で行くことが一番だよ」と言われていました。元々のんびりな性格だったのですが、迷惑かけるのはやめようと思ひ、頑張り始めました。

当時一浪することは普通だったので、何も言われなかったら私もそのパターンだったと思うけれど、家庭教師から言われ続けていたことも後押しだったと思います。

高校生にメッセージを

一言で言うなら、見聞を広げることでしょうか？視覚障がい者の友達がいるのですが、「見えない世界ってこうだ」と知って、サポートの仕方を教えてもらえたり、自分と立場が違う人の気持ちがわかるような経験をたくさんできるようになりました。相手の気持ちを理解するために自分は何をするかという発想です。これは頭が柔らかい若い時だからこそできること。いろんな人と出会って話す機会があることが大切。そういう意味では障がい者と外国人には出会ってほしいと思います。違いがあっても「同じだなあ」と思う部分はたくさんあります。そして学べることも増えます。

「紹介してほしい人」を募集します

OKAME STYLE は年2回の発行を予定しています。今後の紙面に取り上げてほしい卒業生をご紹介ください。自薦、他薦どちらでも構いません。「こんな素敵な人がいます」「この人の話が聞きたい」。多数のご推薦をお待ちしています。

広報委員長 小川訓名(高36回生)

連絡先: 同窓会事務局 oka.dousoukai@gmail.com

仕事は楽しく面白がって。 一生懸命やっていたら面白くなる 歴代初女性会長は令和時代の新リーダー

元福岡県庁職員
筑紫丘高校同窓会第16代会長

20回生 原田ゆみ子さん



< Profile >

高20回生

九州大学文学部仏文学科卒業

1972年 福岡県庁入庁（民生部社会課）
1991年 福岡県地方課企画振興係長
2001年 福岡県国民文化祭室長
2006年 福岡県介護保険課長
2008年 福岡県子育て支援課長
2010年 福岡県庁退職、大野城まどかびあ男女平等推進センター所長
2015年 大野城まどかびあ退職
2016年 丘女会会長
2020年 筑紫丘高校同窓会会長

が首を左にきゅって傾げてしまって上司に叱られたこともありました。

■今の時代に女性同窓会は時代遅れ？

男女平等の度合いを示すジェンダーギャップ指数で、日本は156か国中120位。男女格差の解消は大きな課題です。丘女会は女性活躍、ジェンダー、LGBTなどの図書を昨年も図書館に寄贈、進路や生き方の参考になればと「OKAME STYLE」を制作しています。男性陣にも好評ですよ。今年には会長を引き継ぎましたが、オンライン講演会も計画されています。若い人や男性も巻き込んで、男女関係なく活動できるようになりつつあるのではと、希望を持っています。

■高校生にメッセージを

コロナの時代ではあるけれど、「自分の枠はこれだ」「自分の殻はこれだ」と思わないで、いろんなことに限界を決めずにチャレンジしてほしいと思います。



■今の活動を教えてください

同窓会会長、大野城市男女共同参画審議会、介護保険委員会の会長、他にもボランティアとかあるけれど、今は新型コロナでなかなか活動もできていないんです。

県庁を退職後、大野城まどかびあ男女平等推進センター所長になって、「丘女会の講演会するからおいで」って誘われて行ったのが同窓会とのかかわりのきっかけでした。その後、丘女会の会長になり同窓会の理事にもなって、令和2年に同窓会長に就任しました。

2027年が創立100周年で大事な時期なんですけど、新型コロナの影響で同窓会活動も顔を合わせる機会が少ない中、なんとか今年4月1日、一般財団法人筑紫丘高等学校奨学財団を設立することができ、また、100周年実行委員会設立の準備ができたのでホッとしています。

■キャリアのことを教えてください

県庁に入庁して最初は民生部長秘書で、受付やお茶出しみたいな仕事でした。2年後、結婚したので配置転換してもらい、婦人保護事業とか社会福祉全般のいろんな仕事をしながら11年。その間に3人の子どもを産み、子育てしながら仕事も業務量があって結構大変でした。その後、いくつかの部署を経て地方課で初めて係長になりました。男社会で苦労しましたが、市町村行政を知り、のちに国民文化祭を担当した時に大変役立ちました。

仕事と子育てどちらも充実感。 どちらかだけだったら 物足りなかったかも

公務員の夫も同居の義母も「女も勤め続けたほうがいい」と、仕事に理解がありましたが、自分自身は、仕事か子育てかどちらかを選ばないと両立は難しいと思っていました。2番目の子どもを産

んで職場復帰するときに、定年まで働かない、と覚悟が定まりました。

やはり仕事を持つ、仕事をするってすごく充実感があり、子育て中は大変だったけれど、振り返ると大変だったことは忘れて、ありがたい時間だったと思います。

■一番印象に残っている仕事は？

国民文化祭ですね。女性が管理職になるのは私の時代はなかなか難しく、福岡で国民文化祭がなかったら私はなれなかったかも。文化行政や市町村のまちづくりを担当し、福岡の文化資源をまとめた本を作ったり、文化団体のこともよく知っているからいいと思われたのでは。あとから考えるとこれまでの仕事の集大成のような気がします。大変なことも色々あったけれど、面白い仕事をいっぱいさせてもらいました。

やっていたら面白くなる。 何でも、真面目にしっかり考えて 一生懸命やったらできる気がする

与えられた仕事ができないのは嫌だし、どうせやるなら「仕事は楽しく、面白がってやる。嫌々したらだめ」って、後輩や部下には言っていました。

私ね、高校3年生の実力試験で数学が15点だったんです。こりゃいかんと思って、数学ができる子の参考書を見てその参考書で勉強したら、数学が一番得意になったの。

「どうしてできないんだろう」じゃなくて、 「どうしたらできるんだろう」

「どうしてできないんだろう」って考えたことがない。私は、天邪鬼だから人が「右」って言ったら「左」に行きたくなるんです。批判精神と真面目にやる部分とが合わさっている感じかな。知事の前で仕事のやり取りをしていたときに、私



丘女会のシンボルマーク

おかめ桜の花言葉は「豊かな教養、善良な教育、しとやか、理知に富んだ教育」

【編集後記】

・コロナ禍で世界が未曾有の事態の中でも、皆さん生き生きとされていることに、元気をもらいました。取材のあり方も時代に合わせて大きく変わって、これからも沢山の丘女達に巡り会えそうです。(小川)
・昨年はコロナの影響で発行できず残念でしたが、今回はほとんどテレビ会議の取材やWEBのやり取りで完成。オンラインの活用で可能性が拡がりこれからが楽しみです。取材対象の方の情報をお待ちしています。(太田)

【制作】丘女会広報部：小川訓名（高36）、太田由美子（高32）、米澤一江（高49） デザイン：藤田明子（高39）

※制作ボランティアスタッフを募集しています。興味のある方は広報スタッフもしくは事務局までご連絡ください。